

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成22年5月10日
【四半期会計期間】	第144期第2四半期（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）
【会社名】	帝人株式会社
【英訳名】	TEIJIN LIMITED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 大八木 成男
【本店の所在の場所】	大阪市中央区南本町一丁目6番7号
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
	（上記は登記上の本店所在地であり、主たる本社業務は下記において行っています。）
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区霞が関三丁目2番1号（霞が関コモンゲート西館内）
【電話番号】	東京（03）3506 - 4830
【事務連絡者氏名】	経理部長 小川 英次
【縦覧に供する場所】	帝人株式会社東京本社 （東京都千代田区霞が関三丁目2番1号（霞が関コモンゲート西館内）） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

## 1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年11月6日に提出した第144期第2四半期(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)の四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出致します。

なお、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式(表示情報ファイルを含む。)を提出致します。

## 2【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

#### 第5 経理の状況

##### 1 四半期連結財務諸表

##### (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

[ 四半期レビュー報告書 ]

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_を付して表示しています。

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第143期 前第2四半期 連結累計期間	第144期 当第2四半期 連結累計期間	第143期 前第2四半期 連結会計期間	第144期 当第2四半期 連結会計期間	第143期
会計期間	自 平成20年 4月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成21年 4月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成20年 7月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成21年 7月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成20年 4月1日 至 平成21年 3月31日
売上高 (百万円)	489,871	360,192	253,234	194,190	943,409
経常利益または経常損失 ( ) (百万円)	8,915	3,618	2,276	828	2,680
四半期純利益または 四半期(当期)純損失 ( ) (百万円)	415	25,783	2,311	8,060	42,963
純資産額 (百万円)			401,078	313,225	329,985
総資産額 (百万円)			1,058,810	867,767	874,157
1株当たり純資産額 (円)			387.05	293.51	310.49
1株当たり四半期純利益金額または 四半期(当期)純損失金額 ( ) (円)	0.42	26.20	2.35	8.19	43.65
潜在株式調整後1株当たり 四 半期純利益金額 (円)	0.42				
自己資本比率 (%)			36.0	33.3	35.0
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	4,651	<u>18,692</u>			40,391
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	70,707	26,716			116,303
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	78,475	<u>11,183</u>			79,178
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)			21,955	22,407	18,796
従業員数 (名)			20,293	19,375	19,453

(注) 省略

(訂正後)

回次	第143期 前第2四半期 連結累計期間	第144期 当第2四半期 連結累計期間	第143期 前第2四半期 連結会計期間	第144期 当第2四半期 連結会計期間	第143期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 4月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 7月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 7月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高 (百万円)	489,871	360,192	253,234	194,190	943,409
経常利益または経常損失 ( ) (百万円)	8,915	3,618	2,276	828	2,680
四半期純利益または 四半期(当期)純損失 ( ) (百万円)	415	25,783	2,311	8,060	42,963
純資産額 (百万円)			401,078	313,225	329,985
総資産額 (百万円)			1,058,810	867,767	874,157
1株当たり純資産額 (円)			387.05	293.51	310.49
1株当たり四半期純利益金額または 四半期(当期)純損失金額 ( ) (円)	0.42	26.20	2.35	8.19	43.65
潜在株式調整後1株当たり 四 半期純利益金額 (円)	0.42				
自己資本比率 (%)			36.0	33.3	35.0
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	4,651	<u>28,316</u>			40,391
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	70,707	26,716			116,303
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	78,475	<u>1,559</u>			79,178
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)			21,955	22,407	18,796
従業員数 (名)			20,293	19,375	19,453

(注) 省略

## 第5【経理の状況】

### 2 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表ならびに当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あずさ監査法人による四半期レビューを受けています。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表ならびに当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あずさ監査法人による四半期レビューを受けています。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表について、あずさ監査法人により四半期レビューを受け、その四半期レビュー報告書を添付しています。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	6,043	25,152
減価償却費及びその他の償却費	32,536	30,649
減損損失	-	2,174
受取利息及び受取配当金	997	1,028
支払利息	4,903	3,241
持分法による投資損益( は益)	1,499	2,632
売上債権の増減額( は増加)	104	103
たな卸資産の増減額( は増加)	32,730	9,548
仕入債務の増減額( は減少)	1,666	13,052
その他	6,164	8,231
小計	3,530	26,989
利息及び配当金の受取額	1,173	1,166
利息の支払額	4,894	3,886
法人税等の支払額	4,460	1,621
金銭信託の追加拠出額	-	7,198
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,651	18,692
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	39,891	21,856
投資有価証券の取得による支出	2,620	637
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	24,089	-
その他	4,105	4,223
投資活動によるキャッシュ・フロー	70,707	26,716
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額( は減少)	45,525	4,127
コマーシャル・ペーパーの増減額( は減少)	4,000	9,000
長期借入れによる収入	25,543	30,020
長期借入金の返済による支出	9,162	4,718
社債の発行による収入	33,582	8,991
社債の償還による支出	17,440	26,730
配当金の支払額	3,445	1,968
その他	127	717
財務活動によるキャッシュ・フロー	78,475	11,183
現金及び現金同等物に係る換算差額	293	451
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	2,823	3,611
現金及び現金同等物の期首残高	19,093	18,796
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額( は減少)	37	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,955	22,407

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	6,043	25,152
減価償却費及びその他の償却費	32,536	30,649
減損損失	-	2,174
受取利息及び受取配当金	997	1,028
支払利息	4,903	3,241
持分法による投資損益(は益)	1,499	2,632
売上債権の増減額(は増加)	104	103
たな卸資産の増減額(は増加)	32,730	9,548
仕入債務の増減額(は減少)	1,666	13,052
その他	6,164	1,392
小計	3,530	36,613
利息及び配当金の受取額	1,173	1,166
利息の支払額	4,894	3,886
法人税等の支払額	4,460	1,621
金銭信託の追加拠出額	-	7,198
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,651	28,316
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	39,891	21,856
投資有価証券の取得による支出	2,620	637
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	24,089	-
その他	4,105	4,223
投資活動によるキャッシュ・フロー	70,707	26,716
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	45,525	1,048
コマーシャル・ペーパーの増減額(は減少)	4,000	9,000
長期借入れによる収入	25,543	15,220
長期借入金の返済による支出	9,162	4,718
社債の発行による収入	33,582	6,473
社債の償還による支出	17,440	24,212
配当金の支払額	3,445	1,968
その他	127	717
財務活動によるキャッシュ・フロー	78,475	1,559
現金及び現金同等物に係る換算差額	293	451
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,823	3,611
現金及び現金同等物の期首残高	19,093	18,796
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(は減少)	37	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,955	22,407

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年 5月10日

帝人株式会社

代表取締役社長 大八木 成男 殿

### あずさ監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 徳田 省三 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 穴戸 通孝 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 中嶋 歩 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている帝人株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、帝人株式会社及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 追記情報

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき四半期連結財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の四半期連結財務諸表について四半期レビューを行った。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しています。
  - 2 四半期連結財務諸表の範囲には、XBRLデータ自体は含まれていません。